

# 30万世帯配布が最終盤

止間  
防新  
暖化  
提案

中央公園「キャンドルナイト」

「楽しみながら地球温暖化を止めよう」と提案する新聞の号外を、22日までに県内30万世帯に届ける試みが最終盤となった。全国3000万世帯に届ける活動の一環で、一人一人の行動の見直しや二酸化炭素削減につながる」と訴えている。

号外配布は、元お笑いタレントの「てんつくま」さんが今年2月に提唱。全国各地を回って募金を集め実現した。鹿児島では、平和団体代表の橋之口みゆきさん(43)が呼びかけ人になり、企業の役員や主婦ら約120人のボランティアが配布

に汗を流している。

号外には、廃棄される食品を減らすために、賞味期限の迫った商品から買おう▽輸送トラックの二酸化炭素を減らすために、近くで作られた野菜

を食べようなど、「お勤め」の取り組みが掲載されている。橋口さんは「本中の家庭が白熱電球を省エネ電球に変えると自動車20万台分の二酸化炭素の年間排出量が削減できる。電気代も5分の1

以下。無理をせず、楽しみながら削減できる」と話している。

最も昼が長くなる夏至の22日は午後7〜10時、鹿児島市山下町の中央公園で1000個をともす「キャンドルナイト」を

行う。

【大塚仁